

最終宣言

農業と食料安全保障を国際的課題の核心に

(仮訳)

2008年7月7日から9日に開催された北海道洞爺湖（日本）サミットで採択された世界の食料安全保障に関するG8首脳声明は、世界にまたがるいくつかの地域の何百万人もの人々の生活に及ぼす食料危機の悪影響を認め、食料不安と貧困の問題に取り組むために短期、中期及び長期的な諸措置が必要であることを認識し、農業一次産品及び投入資材諸要素の価格にリンクした将来の危機を防止するために、各国農業大臣に対して食料安全保障に関する適切かつ共有された提案を作成することを求めた。

G8諸国の農業大臣は、2009年4月18日から20日、チソン・ディ・バルマリーノ（イタリア）で会合し、次の結論に達した：

- 2000年ミレニアム宣言は、2015年までに貧困と栄養不足に直面する世界の人口の比率を半減させることを目標とした。関係する国際機関から提供された警告的なデータによれば、我々は今、この目標への到達から極めて遠い位置にある。
- 2008年6月3日から5日にローマで開催されたFAOの世界食料安全保障に関するハイレベル会合は、気候変動への適応と緩和に特別の注意を払いながら農業生産を増加させ脆弱な人々の差し迫ったニーズに応えることを通じてミレニアム開発目標を達成するとの約束を再確認した。同会合は、国の食料安全保障の文脈で十分な食料の権利を発展的に実現するための自主的ガイドラインの重要性を想起した。
- 関係する国際諸機関は、繰り返し、開発途上諸国と市場経済移行諸国が農業と食料生産を拡大し、農業、アグリビジネス及び農村開発に対する公共及び民間の双方からの投資を増大させることを助ける緊急の必要性を呼びかけた。我々は、農業生産の量を増加させ質を高め、すべての市民に対して安全で栄養のある食料に対する経済的、物理的なアクセスが得られるようにするためには、より多くのことがなされるべきであると信じる。
- 世界経済の低迷は、2008年夏以来、ほぼすべての農産物の国際市場価格を急激に低下させ、一定の消費者に対する価格も下落したにもかかわらず、それらの価格は以前の低さと比べれば高く、現在の経済の低迷の深刻さは、貧しいために飢えている人々の数が昨年以降増加していることを意味している。構造的な諸要因が中期的に価格に影響を与えると見られる中で、その不安定性と需要の増大が将来の食料安全保障に重大な疑問を投げかけている。

2009年7月8日から10日にラ・マッドレーナにおいて開催される予定のG8諸国の政府首脳によるサミット、及び食料安全保障が議論される他の国際的な会合にも鑑み、我々は世界のリーダー達に対して以下のメッセージを提起することを希望する。

1. 農業及び食料安全保障は、国際的課題の中で核心に位置付けられる。
2. 十分な食料と水に対するアクセスを保証することは、持続可能な開発と我々の未来について必須のことである。とりわけ開発途上諸国において貧困を削減し、世界の生産を増加させ、食料安全保障を達成するために実施され、共有されるべき全ての戦略に対する注目を集めることが必要である。我々はまた、農業と開発、保健、経済、財政、貿易、金融、環境、林業、水産業、教育、労働及び社会政策など他の政策の間をつなぐを認識し、政策の整合性を改善し得るような環境を創造すべきである。
3. 我々は、持続可能な農業、農村開発及び環境保護に対する官民の投資を国際諸機関と連携して増加させることの重要性を強調する。人口の増加を考慮しつつ、気候変動の影響に取り組み、水、森林及びその他の天然資源の持続可能な管理を保証することが必須である。
4. 我々は、投資を支えるものとして、国、地域及び世界レベルにおける適切な農業政策と戦略の重要性を強調する。これらの政策と戦略は、農民組織を含む全ての主要な関係者を包含する形で、そして信頼のできる統計に基づいて、形作られることが必要である。アフリカにおいては、包括的アフリカ農業開発プログラム（CAADP）がこれらの原則をみな満たしており、我々の支持を得るに値する。
5. 我々は、農業科学、研究、技術、教育、普及サービス及び技術革新に対する投資を含めた支援の強化を呼びかける。我々はまた、食料安全保障を促進する観点とともに各国及び地域の組織や各国政府の能力を高める観点から、他の諸国との間で技術、過程及びアイデアをより一層共有することを約束する。このような努力は、各国においてその多様な農業条件に応じて、生物多様性を尊重し人々の食料へのアクセスを尊重しつつ、農業の生産性を持続可能な形で向上させ農村開発を促進すること、並びに社会及び経済的な発展と繁栄のために不可欠である。我々は、市場へのアクセスを円滑にし、消費者の要求を満たすために、開発途上国において衛生植物検疫措置における能力開発を引き続き支援する。
6. 農民は、農業分野における主人公でなければならない。農業は、消費者の需要に応じて安全で栄養のある食品を生産し、市民の食料安全保障及び食料安全のニーズに対応しなければならず、また、貿易歪曲によつ

て悪影響を受けてはならない。投機を含めて商品市場における価格の不安定性に潜在的に影響を及ぼす要素について、モニタリングと更なる分析が行われるべきである。

農業－食品流通（フードチェーン）の効率性を改善するためには、国際的に調整された戦略が奨励される必要がある。

我々は、開発途上国のフードチェーンにおける無駄、特に収穫後のロスを省く努力を、食品ロスを避け、フードチェーンに必要とされる商品の量を減らし衛生・健康・栄養品質を改善するために支持する。また先進諸国では無駄を削減する努力を支持する。

我々は、保護主義を拒否することの決定的な重要性を高く掲げ、地方、地域及び世界的に統合された農業市場の発展を促しながら、グローバル化と開放市場の利益を維持する必要がある。我々は、農業貿易のためのルールに基づく国際貿易システムの重要性を強調し、ドーハ・ラウンドがバランスの取れ、包括的で野心的な成果に達することを約束する。

7. 我々は、食料安全保障を向上させる手段として、よく機能する市場の役割を支持したい。我々は、在庫管理に関する調整されたアプローチについての様々な選択肢の探求を続ける。我々は、備蓄のシステムが人道的緊急事態に対処するために有効であるか、又は価格の不安定性を制限する手段となり得るかについて、関係する国際諸機関が検討することを呼びかける。彼らは特に、そのようなシステムの実現可能性と運営の方式を検討すべきである。この結果に照らし、更なる前進のステップを目指し、協議プロセスを設立すべきかどうかを検討される。
8. 我々は、世界の多くの地域で農業所帯及び小規模な家族農業並びにそれらによる土地へのアクセスを強化し、女性の参加、性の平等、そして若く初心の農業者を奨励しつつ、農業と農村開発を、他の諸政策とともに持続可能な経済成長の中心に位置付ける必要がある。食料安全保障のためには、天然資源を地方の共同体の関与の下で彼らの独自性を生かして効果的に管理・活用し持続可能な生産を保証するための、焦点を絞った諸政策も必要とされる。この成長の形態は、地元の持続可能な生産が改善されるべき開発の遅れた農村地域の要請にも応えるものである。開発途上諸国における農地の賃借や買取りに注意が払われ、地元の伝統的な土地利用が尊重されるよう保証されるべきである。
9. バイオマス諸原料を使った再生可能なエネルギー生産とこれに関連する投資は、バランスのとれたエネルギー政策上の必要と食料生産の組み合わせにより我々のエネルギー、経済、環境及び農業のニーズへの対応を提供することを通じて、食料安全保障を犠牲にしないような形で持続可能に増加するものでなければならない。2008年6月の世界食料安全保障に関するハイレベル会合宣言において打ち出された戦略に従い、諸政策は、利益を促進しいかなる潜在的リスクも最小化し、第2世代バイオ燃料の開発と商業化に強い力点を置きながら、バイオ燃料が環境面で持続可能に生産され使用されることを奨励するものとされるべきである。

10. 農民は、リスクと市場の危機を管理するための適切なメカニズムを必要とするだろう。各国政府の、及び国際的な農業統計における予測・管理システムと早期警報システムは、将来の危機を予知し防止するためには改善され、より良く調整されなければならない。我々は、関連する国際諸機関及び組織が、我々が直面しているこの新たな課題に対応できることを確実なものとしなければならない。

11. 我々は、現在進行中のFAO及び他の関係するCGIARなどの国際機関を含む国際的な食料安全保障システムの改革の完全な実施にコミットしている。そして我々は国連システムの全ての加盟国及び加盟者がこれらの努力を支持することを呼びかける。FAOがより効果的で焦点を絞っていることは、食料安全保障を強化するという挑戦に照らして決定的に重要である。我々は、2009年内に国連システムの中で世界食料安全保障委員会を根本的に改革し再活性化することへの支持を再確認する。

12. 我々は、G8 北海道洞爺湖サミット首脳声明に基づくガイドラインに沿って、「グローバル・パートナーシップ」を、協議プロセスを通じて設計し早期に設立することへの我々の強い支持を強調する。このパートナーシップは、全ての関係者をとり込み既存の構造や組織を強化しながら統合的なアプローチをもたらすものである。それは、世界の食料安全保障に影響を及ぼす国際的な戦略や政策について、より良い調整とより大きな整合性をもたらすことを目指した世界的な政策規模を持つべきである。このパートナーシップの一部として、食料及び農業に関するハイレベルの専門家の世界的ネットワークが、科学に基づく分析、ニーズや将来の危険を提供するであろう。

我々は、ラ・マッダレーナにおける首脳サミットが、農業と食料安全保障の問題を取り扱い、グローバル・パートナーシップを前進させる一つの前向きな機会となることを期待する。

13. 我々は、国連事務総長が議長を務める国連食料問題ハイレベル・タスクフォースの調整的役割と、緊急諸措置及び強靱性と持続可能性を保証するためのイニシアティブの双方を含めた包括的行動枠組（CFA）に対する我々の支持を再確認する。

➤ 我々は、現在の金融危機が貧困と飢餓に及ぼす悪影響を緩和し、持続可能な農業と食料の生産を強化・勸奨し、農業と研究に対する投資を増加させ、不公平な競争と農産物貿易の歪曲—G20で合意されたように輸出制限措置を含め—を避けるために、使用可能な全てのツールを使うことにコミットする。

農業が果たすべき新たな中心的な役割は、特に飢餓・栄養不良との戦いを通じて保健政策に、また持続可能な天然資源の管理を含めて環境政策になど、他の諸政策に対して顕著な影響を与えうるものである。

- 飢餓を打ち負かし、現在及び将来の世代のために安全、十分に栄養のある食料へのアクセスを保証するという我々の強い決意に再度言及する。

チソン・ディ・バルマリーノ、2009年4月20日